

# 沼田ゼミ活動紹介

## 会津若松市環境フェスティバル実行委員会特別企画での沼田ゼミの取組

### プレス発表資料

福島大学 経済経営学類 沼田ゼミ

**福島大会津若松市環境フェスティバル実行委員会に 関わりたい理由の取組紹介を行います**

本学経済経営学類 1年 沼田ゼミ（沼田ゼミ）17名は、令和4年1月9日（日）開催される、会津若松市環境フェスティバル実行委員会主催環境フェスタ特別企画「もったいないを学ぼう！」取組の準備に取りかかっています。この取組は、沼田ゼミの学生が、環境フェスタ実行委員会の取組に積極的に参加し、環境フェスタの開催に貢献することを目指しています。

会津若松市環境フェスティバル実行委員会では、これまで「環境フェスタ」を開催してきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催が中止となり、開催が困難な状況が続いていました。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けず、開催が可能な状況で、環境フェスタを開催することを目指しています。環境フェスタの開催は、市民の環境意識の向上、環境問題の解決に向けた取組の促進、環境問題の啓発など、大きな意義があります。環境フェスタの開催に貢献することを目指しています。環境フェスタの開催は、市民の環境意識の向上、環境問題の解決に向けた取組の促進、環境問題の啓発など、大きな意義があります。環境フェスタの開催に貢献することを目指しています。

（沼田ゼミの取組）  
環境フェスタ特別企画「もったいないを学ぼう！」取組の準備に取りかかっています。この取組は、沼田ゼミの学生が、環境フェスタ実行委員会の取組に積極的に参加し、環境フェスタの開催に貢献することを目指しています。

### 会津若松市環境フェスティバル実行委員会主催 環境フェスタ特別企画 「もったいないを学ぼう！」

**今、問題となっている食品ロス、普話から学べるエコを通して「もったいない」を学んでみよう！**

**開催日時** 令和4年1月9日（日）10:00~16:00  
**会場** 生浜学園総合センター（多目的ホール）  
**講師** 左 一人 教授（会津大学短期大学部）

**講演内容 ※手話通訳付き**

- 10:10~11:00 **「もったいない」を学ぼう！**（特別講演「もったいないを学ぼう！」）
- 11:10~12:00 **「もったいない」を学ぼう！**（特別講演「もったいないを学ぼう！」）
- 13:00~14:40 **「もったいない」を学ぼう！**（特別講演「もったいないを学ぼう！」）
- 14:50~15:30 **「もったいない」を学ぼう！**（特別講演「もったいないを学ぼう！」）
- 15:30~16:00 **「もったいない」を学ぼう！**（特別講演「もったいないを学ぼう！」）

**定員** 各講演100名 ※参加は無料です。事前申込制です。  
**対象** 環境に関心のある方  
**申込方法** 共催：会津若松市 後援：福島大学

### 環境フェスタ特別企画「もったいないを学ぼう！」 来場者アンケート集計結果

**アンケート回収数** 80名  
**回収率** 45.6%

性別：男 43名 (53.7%)、女 37名 (46.3%)

年齢：10代 17名 (21.2%)、20代 23名 (28.7%)、30代 15名 (18.7%)、40代 10名 (12.5%)、50代 15名 (18.7%)

来場理由：環境問題に関心がある 58名 (72.5%)、環境問題に関心があるが、環境問題について詳しく知りたかった 15名 (18.7%)、環境問題に関心があるが、環境問題について詳しく知りたかった 15名 (18.7%)

開催地への満足度：満足 68名 (85%)、不満 12名 (15%)

開催地への満足度：満足 68名 (85%)、不満 12名 (15%)

開催地への満足度：満足 68名 (85%)、不満 12名 (15%)

### 環境フェスタ特別企画「もったいないを学ぼう！」 集計結果

環境フェスタ特別企画「もったいないを学ぼう！」の集計結果を示しています。アンケートの結果、環境問題に関心がある来場者が多く、開催地への満足度も高いことが確認されました。また、環境問題について詳しく知りたかったという声も聞かれました。今後の開催に向けて、より多くの来場者を呼び込むための取組を進めたいと考えています。

環境フェスタ特別企画「もったいないを学ぼう！」の集計結果を示しています。アンケートの結果、環境問題に関心がある来場者が多く、開催地への満足度も高いことが確認されました。また、環境問題について詳しく知りたかったという声も聞かれました。今後の開催に向けて、より多くの来場者を呼び込むための取組を進めたいと考えています。

### 発表の一例

### サンフラワーの会

福島大学 経済経営学類 1年 野口 朝成 八島 ちはる

本会では、環境問題に関心のある学生が集まり、環境問題について話し合い、取組を進めています。環境問題に関心のある学生が集まり、環境問題について話し合い、取組を進めています。環境問題に関心のある学生が集まり、環境問題について話し合い、取組を進めています。

### 会津若松市環境フェスティバル実行委員会・会津若松市役所から転載許可済

環境フェスタ特別企画「もったいないを学ぼう！」の発表資料の一部を示しています。発表者は、環境問題に関心のある学生が集まり、環境問題について話し合い、取組を進めています。環境問題に関心のある学生が集まり、環境問題について話し合い、取組を進めています。環境問題に関心のある学生が集まり、環境問題について話し合い、取組を進めています。

### 荒川産業

福島大学 人文社会学部 経済経営学類 外山 高将 三浦 美咲

本会では、環境問題に関心のある学生が集まり、環境問題について話し合い、取組を進めています。環境問題に関心のある学生が集まり、環境問題について話し合い、取組を進めています。環境問題に関心のある学生が集まり、環境問題について話し合い、取組を進めています。

### 沼田ゼミ活動紹介

沼田ゼミの活動紹介をしています。環境問題に関心のある学生が集まり、環境問題について話し合い、取組を進めています。環境問題に関心のある学生が集まり、環境問題について話し合い、取組を進めています。環境問題に関心のある学生が集まり、環境問題について話し合い、取組を進めています。

### もったいない会津

福島大学 人文社会学部 経済経営学類 橋本 かな、飯沼 真向

本会では、環境問題に関心のある学生が集まり、環境問題について話し合い、取組を進めています。環境問題に関心のある学生が集まり、環境問題について話し合い、取組を進めています。環境問題に関心のある学生が集まり、環境問題について話し合い、取組を進めています。

## Refill ふくしま（活動エリア：福島県）

東北初の地域リフィル団体です。沼田ゼミ学生が中心となって活動しています。福島は上川ダムから引かれていた水道水がモンドセクションで金を取ったり、フルーツの栽培が盛んであったり、日本酒の製造で有名であったり、魅力たっぷりな場所です。まずは活動を知ってもらい、興味のある方を募っていきましょうと考えています。福島の方々にマイボトルをもつ習慣をつけて頂くために、イベントなどでの仮設給水ステーションの設置、給水スポットの登録、公共の水飲み場の調査などを行います。

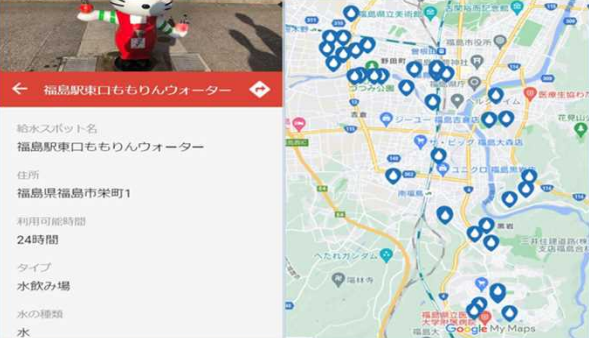
### リフィルって何？（出典：Refill Japan ウェブサイト）

「のが涸れたときに、誰もが気軽に使える水飲み場や給水機、マイボトルに無料で水を入れてくれるお店などの「給水スポット」を増やし、利用を広げましょう。Refill Japanは、日本全国に給水スポットを広げることによって、ペットボトルの使い捨て容器や飲料の利用率を減らし、環境負荷の低減と魅力的なまちづくりを推進する活動のプラットフォームです。」



Refill ふくしま ホームページ  
https://www.refill-japan.org/team/refill-fukushima/

給水スポットマップ例（出典：Refill ふくしま ウェブサイト）



注）右図の ① の箇所が登録した給水スポット、そこにカーソルをあてると、左図のように場所・利用可能時間等が表示される。